



10 県指定史跡
能満寺古墳群

4世紀前半頃に築造されたと考えられる、山国川流域最古の4基からなる古墳群です。特に3号墳は、小規模ながら流域の前方後円墳として初めての例で、鏡などが出土し、畿内色の濃い古墳です。



14 町指定史跡
宇野古墳

宇野古墳群の一つで、埋葬施設に単室の横穴式石室をもつ円墳。須恵器や耳環、馬具などが出土しています。



18 町指定有形民俗文化財
上唐原の宝塔

上唐原にある菅原道真公ゆかりの天満宮の参道脇にあり「法華塚」、「菅公経塚」とも呼ばれています。



11 県指定史跡
西方古墳

復元墳長56mの前方後円墳です。後円部は墳丘背面の約1/2が消失していますが、主軸は概ね北西-南東方向に向きます。墳丘の形状から能満寺3号墳に後出すると考えられます。



15 町指定史跡
吉岡巨石塚

古墳時代後期に築造された古墳。花崗岩で造られた全長約4.5mの横穴式石室が露出しています。



19 町指定有形民俗文化財
野間の宝塔

戦国時代に大規模化した村の祖先霊の総供養塔として造立されたものと考えられます。



12 町指定史跡
百留横穴墓群

古墳時代の横穴墓。49基確認されており、地元では「百穴」と呼ばれています。玄室などから耳環や勾玉、土器など約1600点出土しました。



16 町指定史跡
有野弘法窟

弘法大師が立ち寄ったとされる霊地で、山国川の対岸から窟に向かって投げた筆が「春蛇秋蚓」の文字を書いたと伝えられています。



20 町指定有形民俗文化財
梶谷の板碑

全高は110cmあり、豊前地域で最大の大きさです。室町時代の造立と推定されており、地藏菩薩を表す梵字が薬研彫により刻まれています。



13 町指定史跡
唐原焼窯跡

「高取焼」の窯跡と伝えられ、陶器片などから肥前系の技法が用いられており、江戸時代中期～後期にかけて造営したものと推測されています。



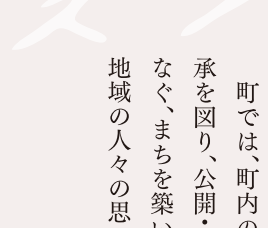
17 町指定史跡
山田古墳

山田古墳群の中で最大規模の埋葬施設に単室の横穴式石室をもつ円墳。石室の左壁には線刻画が確認されています。



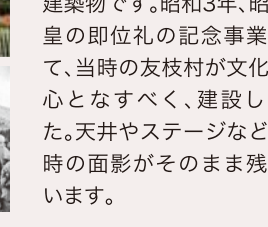
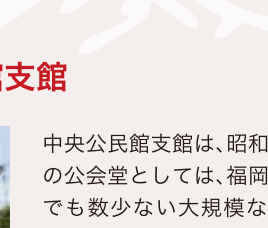
21 町指定有形民俗文化財
真正寺の石塔群

室町時代に天台宗の寺院であった真正寺(廃寺)のお堂周辺にあった石塔群を後の時代に集めたもので五輪塔などが残っています。



7 県指定有形民俗文化財
修験板笈

文化財は、町の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。町では、町内の重要な文化財を指定し、保護・継承を図り、公開・活用に努めています。古の時をつなぐ、まちを築いてきた先人の足跡と守ってきた地域の人々の思いを感じてみませんか。

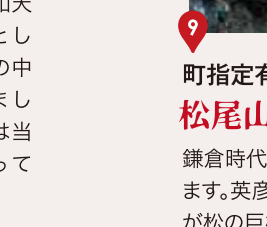


▲上棟式の様子



7 県指定有形民俗文化財
修験板笈

文化財は、町の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。町では、町内の重要な文化財を指定し、保護・継承を図り、公開・活用に努めています。古の時をつなぐ、まちを築いてきた先人の足跡と守ってきた地域の人々の思いを感じてみませんか。

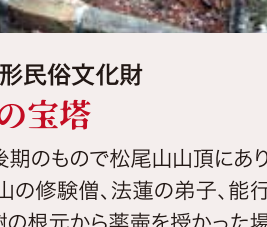
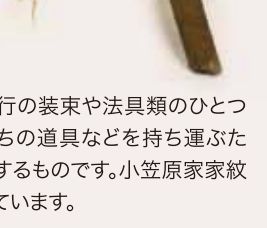


▲上棟式の様子



7 県指定有形民俗文化財
修験板笈

文化財は、町の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産です。町では、町内の重要な文化財を指定し、保護・継承を図り、公開・活用に努めています。古の時をつなぐ、まちを築いてきた先人の足跡と守ってきた地域の人々の思いを感じてみませんか。



▲上棟式の様子



1 国指定史跡
穴ヶ葉山古墳

7世紀はじめに築造された山国川流域屈指の巨大古墳。直径約30mの円墳で、周囲には馬蹄形の周溝が巡られ内部には鳥・魚・木葉・人物が描かれています。



3 国指定史跡
大ノ瀬官衙遺跡

奈良時代から平安時代初頭の官衙遺跡。古代豊前国上毛郡の郡衙跡と考えられています。建物が配置された様子が分かり、具体的な構造を知ることができます。



6 県指定有形民俗文化財
輪蔵 附護符等張紙〈覚円寺〉

中心に柱を通した仏教の経典を収納する大きな書架で、一回転させると中に納めている経典をすべて唱えたことと同じ功德があるといわれています。



8 県指定有形民俗文化財
護摩壇

松尾山医王寺に関連する遺構。乳木(薪)を燃やしながら仏を念じ、呪符を投げ入れ、煙の色や形を通して判断や祈念をしました。



2 国指定史跡
友枝瓦窯跡

奈良時代に造られた登り窯。窯で焼かれた瓦は大字垂水に建立された「垂水廃寺」へ供給されました。



3 国指定史跡
大ノ瀬官衙遺跡

奈良時代から平安時代初頭の官衙遺跡。古代豊前国上毛郡の郡衙跡と考えられています。建物が配置された様子が分かり、具体的な構造を知ることができます。



6 県指定有形民俗文化財
輪蔵 附護符等張紙〈覚円寺〉

中心に柱を通した仏教の経典を収納する大きな書架で、一回転させると中に納めている経典をすべて唱えたことと同じ功德があるといわれています。



8 県指定有形民俗文化財
護摩壇

松尾山医王寺に関連する遺構。乳木(薪)を燃やしながら仏を念じ、呪符を投げ入れ、煙の色や形を通して判断や祈念をしました。



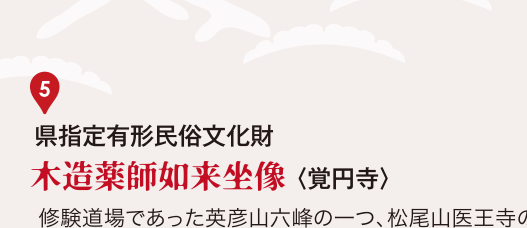
2 国指定史跡
友枝瓦窯跡

奈良時代に造られた登り窯。窯で焼かれた瓦は大字垂水に建立された「垂水廃寺」へ供給されました。



4 国指定史跡
唐原山城跡

三ヶ所の谷を城内に取り込み、推定される列石線(外郭線)の全周は約1.7kmの飛鳥時代のものとおもわれる包谷式の山城です。



5 県指定有形民俗文化財
木造薬師如来坐像〈覚円寺〉

修験道場であった英彦山六峰の一つ、松尾山医王寺の本尊。廃仏毀釈運動などの影響もあり覚円寺におさめられました。定印を結んだ手には薬壺があります。



5 県指定有形民俗文化財
木造薬師如来坐像〈覚円寺〉

修験道場であった英彦山六峰の一つ、松尾山医王寺の本尊。廃仏毀釈運動などの影響もあり覚円寺におさめられました。定印を結んだ手には薬壺があります。

▲上棟式の様子

上毛町歴史民俗資料館



上毛町から出土された土器や鉄など貴重な考古資料のほか、松尾山の修験道に関連する歴史資料を展示しています。山伏が道具を運ぶ際に使った「修験板笈」、写経を納めるための「銅製経筒」、その他唐簀や千歯扱きなど農具を中心とした生活用具も多数展示しています。

◀銅製経筒

上毛町中央公民館支館



▲上棟式の様子

中央公民館支館は、昭和初期の公会堂としては、福岡県内でも数少ない大規模な木造建築物です。昭和3年、昭和天皇の即位礼の記念事業として、当時の友枝村が文化の中心となすべく、建設しました。天井やステージなどは当時の面影がそのまま残っています。



9 町指定有形民俗文化財
松尾山の宝塔

鎌倉時代後期のもので松尾山山頂にあります。英彦山の修験僧、法蓮の弟子、能行が松の巨樹の根元から薬壺を授かった場所に建つといわれています。



8 県指定有形民俗文化財
護摩壇

松尾山医王寺に関連する遺構。乳木(薪)を燃やしながら仏を念じ、呪符を投げ入れ、煙の色や形を通して判断や祈念をしました。



▲上棟式の様子